

森林学びハイク

六甲山の森づくりと

木づかいを学ぶ

唐櫃・六甲山上・森林植物園ツアー

日本の多くの山に手入れが行き届かなくなっています。六甲山はかつて樹木の少ない荒廃した山でしたが、明治の終わり20世紀の初めから森林の再生が進められてきました。しかしながら、六甲山も十分な手が入らなくなり神戸市では平成24年に「六甲山森林整備戦略」を策定し私有林も含めて森林整備を進めています。令和元年から森林環境譲与税の配分が国から行われるようになりました。森林整備だけではなく伐った材を活用して試みもスタートしています。今回は、そのような現場をご案内します。

○申し込み連絡先

(公財)神戸市公園緑化協会
Eメール:rokko@kobe-park.or.jp
TEL 078-795-5656
FAX 078-795-5544

表題を「森づくりツアー」とし

氏名、携帯電話番号またはメールアドレスを明記のうえ、FAXもしくはメールでお申し込みください。

募集人数：20名

○日時

2022 3/21(月・祝日) 9:30-15:00頃

集合場所 神戸電鉄有馬口駅南側出口

参加費 無料

移動は徒歩及びマイクロバスを使用します。

解散 神戸市立森林植物園(自由見学)

ご希望の方は、谷上駅までバスで送ります。小雨決行します。

○その他

- ・コロナ感染防止のためマイクロバスはスタッフも含め定員の半分程度の乗車とします。
- ・アルコール消毒を用意します。
- ・当日、発熱がある方は参加をご遠慮ください。
- ・山道を歩きます。汚れても良い歩きやすい靴、衣服で参加ください。

主催 神戸市(森林環境譲与税を活用した普及啓発事業)
運営 (公財)神戸市公園緑化協会
協力 兵庫県森林組合連合会 こうべ六甲山私有林研究会



【"KOBE Rail & Trail"とは?】

神戸市と神戸電鉄株式会社と株式会社好日山荘がタッグを組み、沿線一帯の遊歩や企業・団体、そして自然や文化を「つなぐ」事で、新たな都市活力の創出、自然環境保全や健康増進など持続可能な社会を目指した「アウトドアのプラットフォーム」を構築する一大プロジェクトです。

(<https://www.kojitusanso.jp/alliance/KRT/>)

見学内容

◆県民緑税と森林環境譲与税を活用した里山林の整備（個人所有林）

下唐櫃の集落に近い森林で、昔は薪を取ったりして使われていました。今は竹が繁茂したり、スギ林の手入れが行き届かなくなったりしていましたが、間伐作業を行いました。また、集落にある山王神社の境内で森林病虫害の被害にあった木の伐採作業を見学します。

◆県民緑税と森林環境譲与税を活用したスギ・ヒノキ人工林の整備 （下唐櫃林産農協所有林）

逢ヶ山頂上までの範囲には所有者の方々が植林され、手入れされてきた森林が広がっています。今回の見学場所では、間伐作業や間伐した木材の搬出を行いました。この木材は、新しい中央区役所などに利用されています。ここまでは下唐櫃まちづくり協議会及び下唐櫃林産農協の方に説明していただきます。

ここまでは有馬口駅から歩きます。途中住宅地内も通ります。この後、バス移動します。

◆森林環境譲与税を活用した林道の修繕（上唐櫃林産農協所有林）

周囲に植林された森林が広がっており、この森林の管理のために林道が使用されてきました。しかし、2014年の災害で大きな被害が出たため、修繕しました。今後は周囲のスギ林の間伐作業と搬出を行うことを所有者の方々と相談しています。上唐櫃林産農協の方に説明していただきます。

◆唐櫃の里山林で伐採されたコナラ材の利用 （県立六甲山ビジターセンター）

2018年に改修された際に、唐櫃の里山林で伐採したコナラ材を加工した床板材が使われています。昼食・トイレ休憩とあわせて見学します。

◆神戸市立森林植物園

1940年に起工した森林植物園には、世界のいろいろな樹木を植栽展示しています。その中で昨年の春に間伐を実施した中国原産のコウヨウザンや森林病虫害の被害を受け伐採したコナラを展示館の床材の改修に活用しています。